

6月のびんぎんぎん

いざという時に備えて

6月4日、早来栄町にあるデイサービスセンターサツクルとグループホームさかえ、役場による合同土砂災害防災訓練を実施。

全国統一の土砂災害防災訓練に合わせて行われたもので、役場を交えた訓練内容に清水施設長は「役場と一緒に取り組めたことはありがたいこと。これからも、防災に対する危機感を持ち続けていきたい」と話してくれました。



町内の魅力再発見

6月11日、町内にある資源や魅力を再発見する「春のシャッターチャンス!あびら菜彩発見ツアー」が実施されました。

参加者は、ノーザンファームや菜の花畑、給食センターを見学。広大な敷地のノーザンファームでは、ディープレインパクトも使用し鍛えた調教施設を見学し、名馬も利用したことを知った参加者からは驚きの声が上がっていました。



味良し!形良し!

6月6日、野菜共同集出荷場でカンロの初出荷が行われました。

2戸の農家によって8箱が出荷。初出荷となった石田繁春さん、岩倉啓一さんから「天候に恵まれて、味もサイズも良いものが出来た」と話をうかがうことが出来ました。

翌日行われた、札幌市中央卸売市場での初競りでは、1箱1万円の価格がつかまりました。



将来に活かす経験

6月12、13日、追分高等学校2年生を対象にした職場体験学習が行われました。

5名の生徒を受け入れた追分保育園では、子ども達と遊んだり、ご飯を食べさせるなどを体験。普段できないことを体験した生徒からは「疲れるけれど、それ以上に楽しい。」と話してくれました。

就職や進学を控える高校2年生にとって、将来を考える時間となったのではないのでしょうか。



綺麗な乳牛はどれだ

6月13日、北海道ホルスタイン共進会場で平成26年度JAとまこまい広域ホルスタインショウが行われました。

ホルスタインショウは、乳牛の骨格や胴の長さ、乳房など様々な要素から美しい牛を選ぶコンテストで、今回は苦小牧市、厚真町、安平町の1市2町から12戸の生産者、29頭の乳牛が参加。

安平町の生産者は、8つの部門のうち5部門で1席を獲得しました。

